

平成28年度 事業計画

- ◆ 万博記念公園内の一施設として、展示の質の向上や入館者の満足度向上に努め、園内の賑わい創出に貢献します。
- ◆ 不特定多数の入館者の増加に心がけ、また関連の民芸館・美術館・博物館・大学および百貨店ミュージアム等と連携を強めて民芸運動の普及啓発に努めます。
- ◆ 公益財団法人として、事業運営の安定した財政基盤を固めて、真に公益性の高い施設運営を目指します。

1. 民芸に関する公開展示事業

(1) 春季特別展

- ・ 展覧会名称：「丹波の^{みんげい}民藝一陶磁と染織一」(仮)
- ・ 開催時期：平成28年3月5日(土)から7月18日(月・祝)
- ・ 記念講演会：演題：「民芸運動と関西」(仮)
講師(予定)：藤田治彦氏(大阪大学大学院文学研究科教授)
日時(予定)：平成28年6月26日(日)
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：100名(予約制)
参加費：聴講料300円(大阪日本民芸館の入館料が別途必要)
当日は、民芸作品に直接触れる機会をつくるため、館内で呈茶を企画したい。
※ 関西・大阪21世紀協会による助成事業(申請中)

(2) 秋季特別展

- ・ 展覧会名称：「河井寛次郎」(仮)
- ・ 開催時期：平成28年9月3日(土)から12月11日(日)
- ・ 記念講演会：演題：「河井寛次郎の世界」(仮)
講師(予定)：河井敏孝氏(陶芸家・河井寛次郎記念館館長)
日時(予定)：平成28年10月23日(日)
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：100名(予約制)
参加費：聴講料300円(大阪日本民芸館の入館料が別途必要)
当日は、民芸作品に直接触れる機会をつくるため、館内で呈茶を企画したい。
※ 関西・大阪21世紀協会による助成事業(申請中)

2. 民芸関連機関との連携を通じた調査研究、収集ならびにショップ事業

- (1) 春季・秋季特別展関連の民芸品を中心に窯元、出版、家具・染織・紙製作者を通じ、作品を収集し、不特定多数の入館者(ミュージアムショップのみの来場者含む)に廉価で販売。

- (2) 全国17箇所の民芸館および関連の美術館・博物館の展示会情報を不特定多数の入館者(ミュージアムショップのみの来場者含む)に提供。

3. 民芸に関する調査研究ならびに普及啓発事業

- (1) **みんげいゼミ及びワークショップ**
様々な分野の指導講師による、不特定多数の来館者を対象とした研修を実施することにより、民芸の基本的な知識について、普及啓発を図ることを目的として実施する。秋季特別展の計画は未定。

① **みんげいゼミ**

演題：「丹波の壺」(仮)

講師(予定)：弓場紀知氏(兵庫陶芸美術館副館長)

日時(予定)：平成28年4月24日(日) 14:00～15:30

会場：大阪日本民芸館会議室

定員：20名(予約制)

参加費：300円(大阪日本民芸館の入館料が別途必要)

② **みんげいゼミ**

演題：「丹波布の魅力」(仮)

講師(予定)：小野絢子氏(大阪日本民芸館学芸員)

日時(予定)：平成28年7月10日(日) 14:00～15:30

会場：大阪日本民芸館会議室

定員：20名(予約制)

参加費：300円(大阪日本民芸館の入館料が別途必要)

③ **大阪日本民芸館春季特別展ワークショップ**

演題：「丹波布ワークショップ—糸紡ぎ、機織、槌作り」(仮)

講師(予定)：丹波布技術者保存会 技術者協会の方々

日時(予定)：平成28年6月5日(日)

10:30～12:00、14:00～15:30、2回予定。

会場：大阪日本民芸館和室

定員：各12名(予約制)

参加費：800円(大阪日本民芸館の入館料が別途必要)

- (2) **ギャラリートーク<学芸員による展示解説>**

当館学芸員による、不特定多数の来館者を対象としたギャラリートークを実施することにより、開催中の展示に関し、より深く理解できるように導き、民芸の普及啓発を図ることとする。実施は月2回を原則に、適宜実施する。

(3) 民げい市

関西圏を中心とした作り手による陶磁器、木漆工作品・染織の展示販売を通じ、民芸の普及啓発を図るとともに若手作り作家を支援する。

日時（予定）：平成 28 年 5 月 14 日（土）、15（日）

会場：大阪日本民芸館周辺

参加民芸作家：20 名に拡大予定 平成 27 年の来場者は約 2 0 0 0 名

参加費：無料

※ 関西・大阪 2 1 世紀協会による助成事業（申請中）